―富良野消防署占冠支署からのお知らせ―

令和８年１０月　７日

寒い季節には欠かせない暖房器具ですが、毎年火災事故を含む多くの事故が発生しています。「去年問題なかったし、今年もきっと使える。」そんな思い込みは事故の元。安全に冬を乗り切るためには、シーズン初めや日々の点検が大切です。

電気暖房器具及び石油暖房器具について、次の５つの点検を実施し、事故を未然に防ぎましょう。

【電気暖房器具の５つの点検】



□ リコール対象品かどうか確認する。

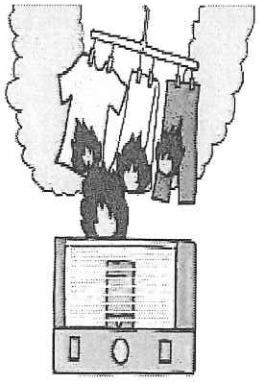
□ 電源コードや電源プラグが変形・破損していないか、コンセントが、たこ足配線になっていないか確認する。

□ 機器と周囲の壁や可燃物との距離が十分に確保できていることを確認する。

□ 本体に変色や変形等の異常がないか確認する。

□ 転倒時オフ機能が正常に作動するか確認する。

【石油暖房器具の５つの点検】



□ ほこりがたまっていれば取り除く。

□ 対震自動消火装置が正しく作動することを確認する。

□ 燃料は新しい灯油を使い、昨シーズンの灯油を使用しない。
ガソリンを灯油とは別の場所で保管するなど、誤給油を防ぐための対策を徹底する。

□ カートリッジタンクの給油口ふたが確実に閉まっていること、漏れがないことを確認する。

□ 機器と周囲の壁や可燃物との十分な距離が確保できていることを確認する。



担　当：占冠支署　指導係（奥平・山西・山田）
：５６－２１１９　FAX：５６―２７３８